



# 大学コンソーシアム沖縄における各機関の取組

大学コンソーシアム沖縄  
代表理事（職務代理） 喜納 育江

# 産学協働による実践的金融リテラシー教育の展開

- 科目名：実践経済学Ⅲ（国際地域創造学部）

- 連携企業・講師

- 安藤証券株式会社 沖縄営業所
- 現役の証券ディーラーによる対面直接指導

- 講義の目的

- 現代社会において、金融や投資に関する知識は一部の専門家だけのものではなく、誰もが身につけるべき「生活スキル」となっている。本講義では、金融市場と資産運用の仕組みを基礎から学び、「お金に関する知識」と「自ら判断する力」を養うことを目的とする。また、SNSやインターネット上には不確かな投資情報や詐欺的勧誘も多く存在する中で、情報を鵜呑みにせず、自ら考え、リスクとリターンを理解した上で主体的に意思決定できる力を身につける。さらに、将来のライフプランやキャリア形成とも関連づけながら、「お金とどのように向き合うか」を考え、変化の大きい時代を生き抜くための実践的な金融リテラシーを習得することを目指す。

- 取組の大きな特徴（座学と実践的演習の融合）

- 【座学】株式会社の仕組み、株価形成のメカニズム、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、様々な投資戦略・戦術など、資産運用の現役実務家の視点による生きた知識の提供
- 【演習】学生自らがシステムトレードロジックを構築し、実際の市場データとMicrosoft Excelを用いてバックテストを行う
- 【マーケットレビュー】経済、金融、国際情勢など様々な世界の動きが金融商品の価格に与える影響について、最新の事例を取り上げ解説する



2025年9月1日、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学は、一般社団法人 沖縄未来人材育成ラボ（代表理事：今井恒子氏、以下OKIFL）と「沖縄キリスト教学院大学及び沖縄キリスト教短期大学との包括連携協定に関する協定書」の調印式を本学にて執り行いました。本協定は、人的交流を深めることにより、教育、研究、地域、社会貢献等の分野で協力し、活力ある個性豊かな人材育成並びに沖縄県の観光産業振興に寄与することを目的としています。今後「教育、研究における相互支援に関すること」、「観光産業等の人材育成・キャリア形成に資する支援に関すること」、「OKIFLが実施するインターンシップへの大学の学生の受入に関すること」など様々な分野で連携・協力してまいります。

#### 〈学長コメント〉

戦後80年たった今も、沖縄には課題が山積している。沖縄未来人材育成ラボからの協力を得ながら、キリスト教精神に基づいた教育を展開し、沖縄を平和で明るい未来へ導く人材の育成に取り組んでいきたい。

### 一般社団法人 沖縄未来人材育成ラボとの 包括連携協定



キリ学キリ短通信より抜粋

# 沖縄大学における産学協働人材育成の取組

## ・ 沖縄県障がい者スポーツ協会との連携による障がい者スポーツに関する人材育成・交流及び活動促進

本学の福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻で沖縄県障がい者スポーツ協会と連携を深め、障がい者スポーツ指導員養成カリキュラムの強化を進めています。



## ・ 沖縄県障がい者スポーツ協会連携による講義実施

### 講義名「障がい者スポーツ実践演習Ⅱ」

シラバス：障がい者スポーツ指導に関して、日本や沖縄の現状と社会的課題を理解し、その課題に対応する施策を創出する力を身につけることを目的とする。授業の前半は、沖縄県内で活躍する指導員の方々を外部講師に迎え、沖縄県内の障がい者スポーツに関する課題を学習する。授業の後半は、学習した課題に対応したイベントを学生が企画し、実践する。



# 沖縄女子短期大学【産学協働人財育成の取組】

沖縄女子短期大学は、下記のような取り組みを実施しています。

## 【総合ビジネス学科】

- ・科目名「特殊講義」。ジョブシャドウイング体験に向けて、事前にビジネスマナーや職業内容等を学び、事後には振り返りを実施しています。

## 【児童教育学科】

- ・各種実習関連及びインターンシップ。例えば、私保連・日保協会と実習含むカリキュラムやキャリア支援について情報交換を実施しています。

## 沖縄国際大学の「実践知」を基盤にした、地域連携事業



学生の自由な  
発想・アイデア



中小企業診断士協会による  
専門的な助言



実践的な人材育成  
&  
地域社会への貢献



### Ⅰ 商品企画コンテスト2025（ハッピーモア市場）



#### 試作品は即完売！

- ☑ 企業からの課題：「ヨーコさんのレモンアンダギーのもと」を活用したレシピ考案。
- ☑ 成果と評価：グランプリを受賞した商品が店舗での限定販売（60個）で圧倒的な支持を集めた。
- ☑ 実践の学び：数か月の企画・試作と、中小企業診断士のプロ目線による助言によって、市場ニーズを捉えた商品化を実現。



### Ⅱ 商品企画コンテスト2026（東村連携）



#### 東村の想いを学生の発想でカタチに！

- ☑ 東村の課題：青果以外での特産品（パイン）PRできる商品の企画・提案。
- ☑ プロジェクトの進化：昨年度の実績を踏まえ、参加学生が増加（約40名⇒約100名）
- ☑ 大学×地域の新たな価値の創造：東村のPR商品であると同時に、オキコ生が発案した商品として、大学PRにも資する商品を期待。

## 「実践知」と地域資源が交差する「知と実践の拠点」



### 学生の学びへの価値

机上での学びを超えた「実践知」の養成  
リアルな成功体験とビジネススキルの修得



### 地域・企業への価値

学生による新たな発想と専門家の知見による  
新たな市場価値の創造  
地域社会への学生関与による活性化



### 大学の使命

地域連携を通じて、「沖縄の屋台骨を支える大学」  
として、社会で即戦力となる人材輩出に貢献。

# 沖縄県立芸術大学×デパートリウボウ アートフェスティバル

美術工芸学部・造形芸術専攻  
展示販売会



令和7年9月9日～14日実施

(令和2年度より毎年実施)

音楽学部 演奏会

(声楽・ピアノ・管弦楽・琉球古典)



## 名桜大学における産学協働人材育成の取組み（近年の状況）

### ●イオン琉球株式会社（2022（令和4）年8月5日締結）

①共同研究：ア）学生による健康長寿弁当コンテストの実施 イ）イベント登壇：健康×SDGs×学生（ヘルスサポート学生） ウ）研究題材として共同企画：地方創生政策アイデアコンテスト「こころ踊るプルミエシークワサー」、アカウンティングコンペティション「SDGs時代の企業情報開示のあり方-イオン琉球株式会社を取り上げて-」②寄付講座：イオン環境財団「社会科学特別講義（サステイナブルコミュニケーション論（やんばる版）」（2023年度：18名参加。国頭村「やんばる学びの森」での実践、2024年度：19名参加。本部町「美ら海水族館」・国頭村「やんばる学びの森」での実践）

### ●株式会社ジャパンエンターテイメント（2023（令和5）年2月20日締結）

長期インターンシップ「観光関連実務：540時間6単位」

### ●ソフトバンク株式会社（2023（令和5）年11月6日締結）

人型ロボット「Pepper」活用したロボットプログラミング「恩納村うんな魂プロジェクト」

### ●沖縄セルラー電話株式会社（2024（令和6）年8月2日締結）

PBL演習「健康情報演習」健康診断データ解析スキルの向上と課題の分析と解決策立案

### ●シスコシステムズとネットワンシステムズと3者間連携（2024（令和6）年9月11日締結）

連携授業：「AI・データサイエンスⅠ：データ分析ツール活用によるハンズオン形式で実施」「AI・データサイエンスⅡ：地域課題を題材としたPBLの実践」

●JAおきなわ（2024（令和6）年7月～2026（令和8）年3月）：今帰仁村特産物「今帰仁スイカ」カットスイカプロジェクト：10名参加カットスイカの販売、イベント企画と実践、SNS等活用によるPR企画等の実施

●名護パイン園・名護パイナップルワイナリー（2024（令和6）年9月～12月）：パイナップルカレッジ作戦。7名参加。パイナップルワインのリ・ブランディング、プロモーション活動について提案

# 沖縄県立看護大学における取り組み

沖縄島嶼保健看護協働センターを中心に、学生が主体的に地域に関わる実践的な学修を展開している。これにより、学生が地域特性や課題への理解を深めるとともに、対人支援力や協働力を高める機会を創出している。

## ○多良間村との包括連携協定に係る取り組み

令和6年度に多良間村と地域課題に対応し、保健福祉の向上及び持続的発展に寄与することを目的に包括連携協定を締結した。当該協定に関する取り組みを以下のとおり実施している。

- ①住民主体の地域包括ケア推進を目的とした住民会議の開催
- ②本学学生による文化体験、高齢者サポート活動
- ③多良間出身高校生へのピアサポート活動「ふしゃぬふ うぐなーりcafé」 等

## ○地域における他機関と連携した取り組み

- ①与儀小学校まちづくり協議会における地域貢献活動の実施
- ②寄宮中学校での学習支援等の学生によるピアサポート
- ③子どもの居場所ボランティアセンターの学習塾・こども食堂等への学生の派遣
- ④包括支援センターとの協働による高齢者の介護予防教室等の実施
- ⑤ボランティア活動による地域イベント支援（健康測定、マラソン大会ボランティア等） 等

## ○自治体と連携したインターンシップの実施

- ①多良間村
- ②伊江村
- ③県立宮古病院
- ④県立八重山病院 等

# 航空技術者プログラム

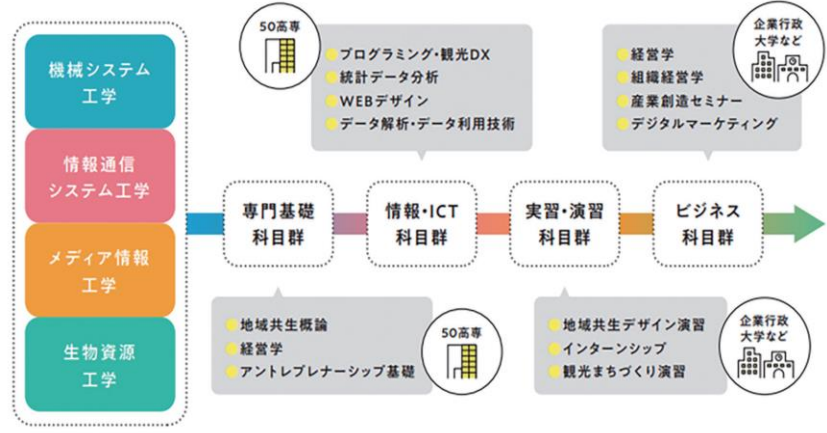
4年間の実践的教育プログラム  
+ 1年生向け講演会等の実施



# 観光・地域共生デザインコース

特色ある科目

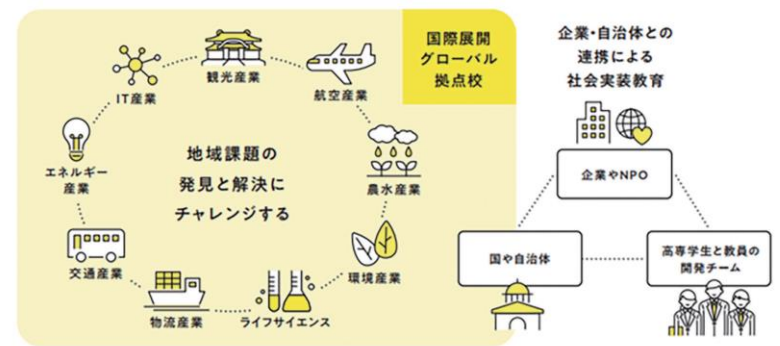
数学的思考や情報処理能力と経営企画能力との統合を目指した科目を取り入れています。観光と地域共生システムを環境に調和させつつ構築できるような実践的・創造的技術者を育成します。



特色ある教育で身につく力

観光・地域共生デザインコースでは、民間の最先端の現場に立つ講師を招いた授業を取り入れたり、「社会のために何をつくるべきか?」を地域社会と共に考え、取り組む「社会実装教育」を行います。

- 身につく力
- ① 観光・地域共生の視点から、自然・人文科学の基礎知識をもとに論理的に思考できる能力
  - ② 情報技術の基礎知識を備え、ハードウェアとソフトウェア両面から社会問題を解決できる基本技術力
  - ③ 経済と経営の基礎知識を理解し、統計やデータ解析を用いて地域課題の解決策をデザインできる能力
  - ④ 地域の自然・都市・交通を含めた環境の基礎知識を有し、新たなリソースを発見・提案できる基礎的企画力



学生たちが学ぶための新たな仕掛けや地域連携プラットフォームを構築

# 沖縄科学技術大学院大学 (OIST) の取組

- ・アカデミアのみならず社会の各界で活躍できる博士リーダーの育成
- ・イノベーション（POCプログラム、インキュベータ施設、ファンド、連携協定等）
- ・産学連携による量子人材育成プログラム、人材育成型プラットフォーム
- ・科学教育と社会連携（青少年、一般、官民学パートナーシップ）



| 年度              | 来訪/イベント数 | 来訪者数   |
|-----------------|----------|--------|
| 2021            | 81       | 5,565  |
| 2022            | 66       | 5,695  |
| 2023            | 184      | 26,206 |
| 2024            | 210      | 35,369 |
| 2025<br>(4月-7月) | 66       | 10,306 |

総合学習やキャリア教育に！  
**STEP OKINAWA**  
中学生のための  
OIST訪問プログラム  
Science & Technology Education Program

プログラム内容

- ☒ 概要説明  
大学校・研究とは？OISTってどんなところ？
- ☒ キャンパスツアー  
未来の研究施設を歩いてみよう！
- ☒ キャリアトーク  
なりたいたい自分を見つけよう！（講師サポーターあり）

More details....

← 申込はこちらから  
or  
OIST 中学校 訪問

受付対象：県内中学校  
受入人数：1校につき80名程度  
所要時間：90分程度（人数により、所要時間が異なる場合があります。）  
開催日程：平日 10:00 開始 または 14:00 開始

OIST OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY  
沖縄科学技術大学院大学

お問い合わせ アドミニセクション  
E: oistinfo@oist.ac.jp  
T: 098-936-2184